

明治座5月公演

今 春来たりて、新たな花々咲き競う...

あてやかな紅枝垂の桜
どんな世の中になってもあの花だけは
咲き続けますのやろな。

細雪

次女・幸子
一路真輝

長女・鶴子
浅野ゆう子

谷崎潤一郎「原作」
菊田一夫「脚本」
堀越真潤色
水谷幹夫「演出」

四女・妙子
水夏希

三女・雪子
瀬奈じゅん

2019年
5月4日(土)~27日(月)
明治座

製作=東宝



(次女の夫・員外)

葛山信吾

(長女の夫・兵衛)

磯部勉

(長男)

川崎麻世

(御使)

今拓哉

(三男)

太川陽介



大橋芳枝



木沙のえる



仲手川由美



松本好水



西川瑞生朗

演出補:砂川幸子 装束:石井みつる 照明:塚本 悟 ヘアメイク:宮内空明 衣裳:伊藤新治・大戸美貴・坂東智代(兼美術) 音楽:橋岡清 効果:呉泉 朝
振付:西川瑞生 邦楽:末川敏子 方言指導:大塚雅子 企画:末久保 空 プロデューサー:渡邊 隆・荒田智子・黒瀬朝子 / 監修:酒井新一郎 / 製作:東宝

2月23日(土)10時より 3月1日(金)17時止

明治座 明治座 明治座 明治座 明治座
インターネット
先行予約開始

《電話先行予約》3月2日(土)10:00~17:00

開演時間 11:00 / 16:00

料金(税込) S席 13,000円(1階席・2階前方席)
A席 9,000円(2階後方席・車いすスペース)
B席 6,500円(3階席)

2019年5月4日(土)~27日(月)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
11:00	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16:00	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一般販売(電話・ネット予約) 3月3日(土)10:00~
窓口販売・予約引取開始 3月6日(水)10:00~

インターネット予約 席とりくん 検索
https://web.meijiza.com/

明治座チケットセンター 03-3666-6666
(10:00~17:00)

10名様以上のグループ観劇
予約受付中! (別途営業時間)

(各種プレイガイドでもお取り扱いいたします)

- チケットぴあ <http://t.pia.jp/>
0570-02-9999 (Pコード:491-820)
- イープラス <http://i-plus.jp/>
- ローネットチケット <http://l-net.com/>
0570-084-003 (Lコード:33112)
0570-000-407 (オペレーター専用) 10:00~18:00

- セブンチケット <http://7ticket.jp/g/000884>
- CNプレイガイド <http://www.cnplayguide.com/>
0370-08-9999 (オペレーター専用) 10:00~18:00
- 楽天チケット <http://ticket.rakuten.co.jp/>
- カンフェティ <http://www.confetti-web.com/meijiza>
0120-240-540 (オペレーター専用) 平日 10:00~18:00

© 2017 東宝株式会社。一部は商標登録。PHSは登録商標。利用は、ただけです。



〒103-0007 東京都中央区本町3-21-1
地下鉄 有楽町線(新富町駅)
○入館料(観劇者専用)
○本天覧券(本館専用)

儂くも美しい、それはまるで桜のように——。

戦争に向け、大きく時代が変わろうとしていた昭和十年代。それぞれの道を力強く生きる、四姉妹。

大切な人を思う気持ちが、心揺さぶる不朽の名作。

明治座五月公演

細雪

子くみゆき

45分

谷崎潤一郎 原作
菊田一夫 脚本
堀越真 潤色
水谷幹夫 演出



(長女 結子)
浅野ゆう子



(次女 幸子)
一路真輝



(三女 幸子)
瀬奈じゆん



(四女 妙子)
水夏希

真の美しさは、
時代が変われども：

時代は昭和十年代、場所は大阪・船場、徳川の時代から続く木綿問屋・蒔圃商店。

先代の父から譲り受けた家業の「暖簾」を守り、格式を重んじる本家の長女・結子。分家して神戸・芦屋に住ま

物いをつ構え、妹たちを優しく見守る次女・幸子。数多の縁談を断り続け、婚期がとわいていく三女・幸子。ハイカラで活発、手に職をつけて自立の道を開いていく四女・妙子。

時代は戦争に向けて大きく動き出している中でも、優雅さを忘れない美しい四姉妹。それぞれの想い、それぞれの人生を歩んでゆく。

そしてついに日中戦争勃発、本家の蒔圃商店は倒産。姉妹たちは自分たちの世界が古き良き時代、すでに過去になつたつことを感じ始めている。

それでも彼女たちは美しくあることをめめり散らからそ美しい、満開の紅枝垂の桜のように……。